

2023年の木材輸入実績

令和6年3月

林野庁 木材貿易対策室

1. 2023年における世界の木材需給動向

2. 木材輸入額

- 世界の主要市場における木材価格は、過去3年間と比較し、新型コロナウイルスのパンデミック以前の水準に接近。
- 主要市場の動向として、北米市場は、金利上昇の影響を受け、住宅需要が減速したが、年末にかけて住宅着工戸数が回復基調に。欧州市場では、金利上昇の影響等で建築需要が低迷。中国市場は、2023年末にかけて不動産不況等により景気が停滞。
- 今後、ウクライナやパレスチナでの戦闘の動向が、コロナ禍から正常化に向かう市場に混乱をもたらす懸念あり。

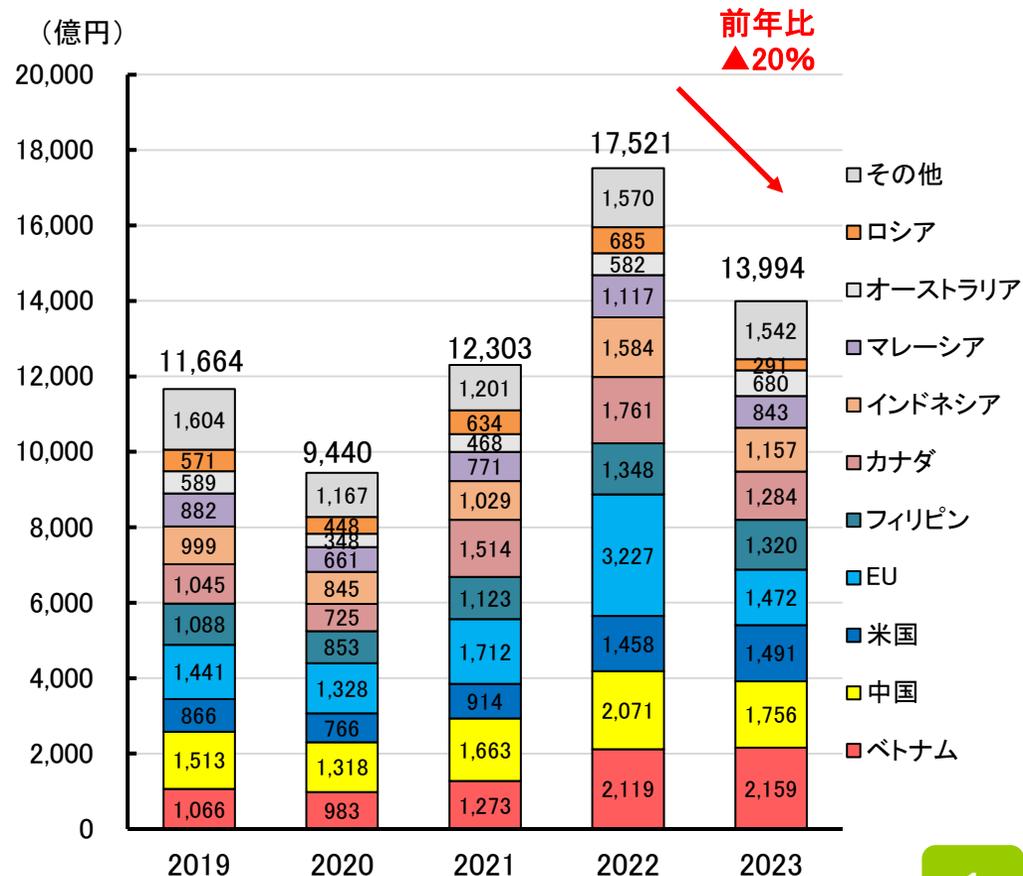
- 2023年の木材輸入額(HS44類)は、前年比▲20%減の1兆3,994億円。木材輸入額第1位はベトナム、第2位は中国、第3位は米国となった。EUは、製材・集成材などの輸入額が大幅に減少したことで、前年第1位から第4位に後退。
- 2022年と比較すると、ベトナムが前年比+2%増、中国が同▲15%減、米国が同+2%増、EUが同▲54%減、フィリピンが同▲2%減、カナダが同▲27%減。

【我が国の主な動向】(1)(2)(3)(4)(5)

- 国内の新設住宅着工戸数は約82万戸(前年比▲4.6%減)と住宅需要が減少。ウッドショック後の需給調整に加え、円安により輸入コストも増大し、製材、合板、集成材等の主要木材製品の輸入量は大幅に減少。

【地域別の主な動向】

- **北米**(6)(7)(8)(9): 米国では、住宅ローン金利の高止まりなどによる住宅需要の減速から、年末にかけて戸建て住宅の着工件数が緩やかに増加。2023年12月の住宅着工戸数は約146万戸(年率換算、季節調整済み、速報値)と回復基調。製材価格は、コロナ禍以降の乱高下が続いた状況から、2020年以前に近い水準で推移し、2023年12月時点で382ドル/mbfを記録。
- **欧州**(9)(10): 欧州内は金利上昇の影響で建築需要が低迷し、中国向けの欧州材需要は不動産不況やロシア材の供給により縮小、日本や中近東、北アフリカへの輸出も減少。米国向けも、需要は比較的堅調だったものの価格は下落。
- **東南アジア**(11)(12): マレーシアやインドネシアでは、需要の停滞から、現地合板メーカーは減産体制を取っている状況。
- **中国**(13)(14): 2023年の丸太輸入量は、前年比▲13%減の約3,800万m³。国別に見ると、ニュージーランドが同+2%増、ドイツは虫害材の供給余力がなくなり同▲40%減。2023年の中国経済は、年初のゼロコロナ政策の撤廃後、急速に回復したものの、不動産不況等により年末にかけて再び停滞。
- **ロシア**(15): 現地製材メーカーは、人件費の高騰やロシアのウクライナ侵略に伴う経済制裁の影響で物流コストが上昇。また、欧州向けの輸出禁止に加え、中国向けも需要停滞により、販売は伸び悩み。



資料:「貿易統計」
(2023年は確々報値)

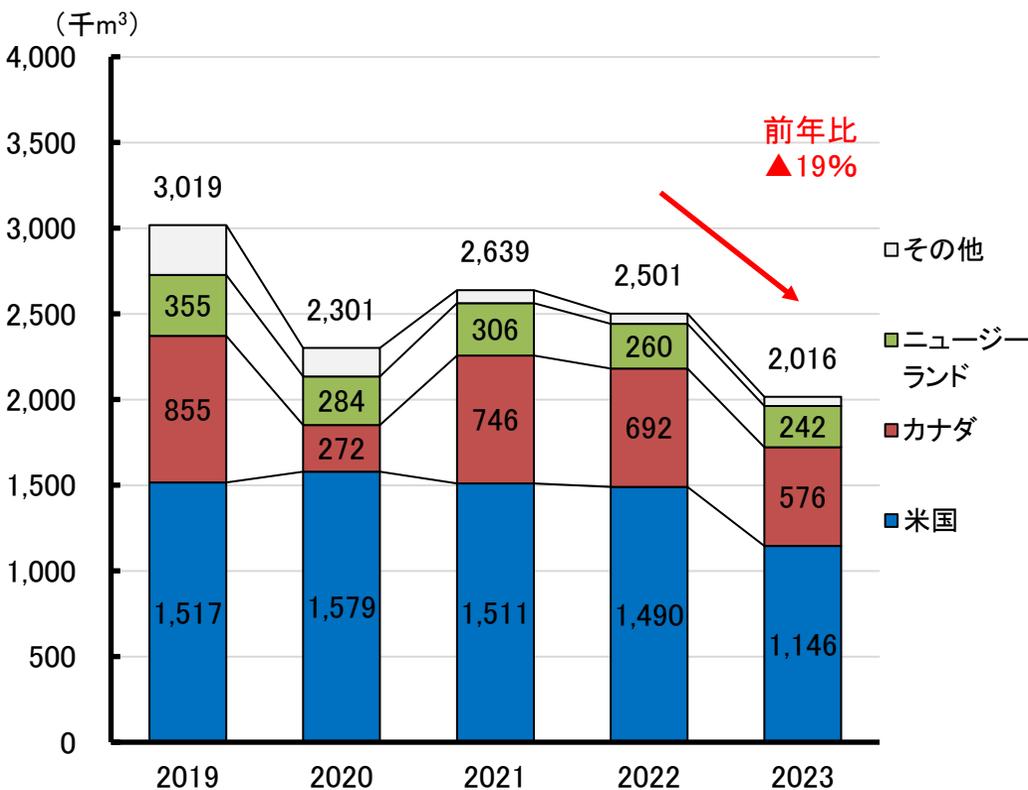
木材輸入額の推移

3. 品目別輸入動向－(1)丸太

(2)製材

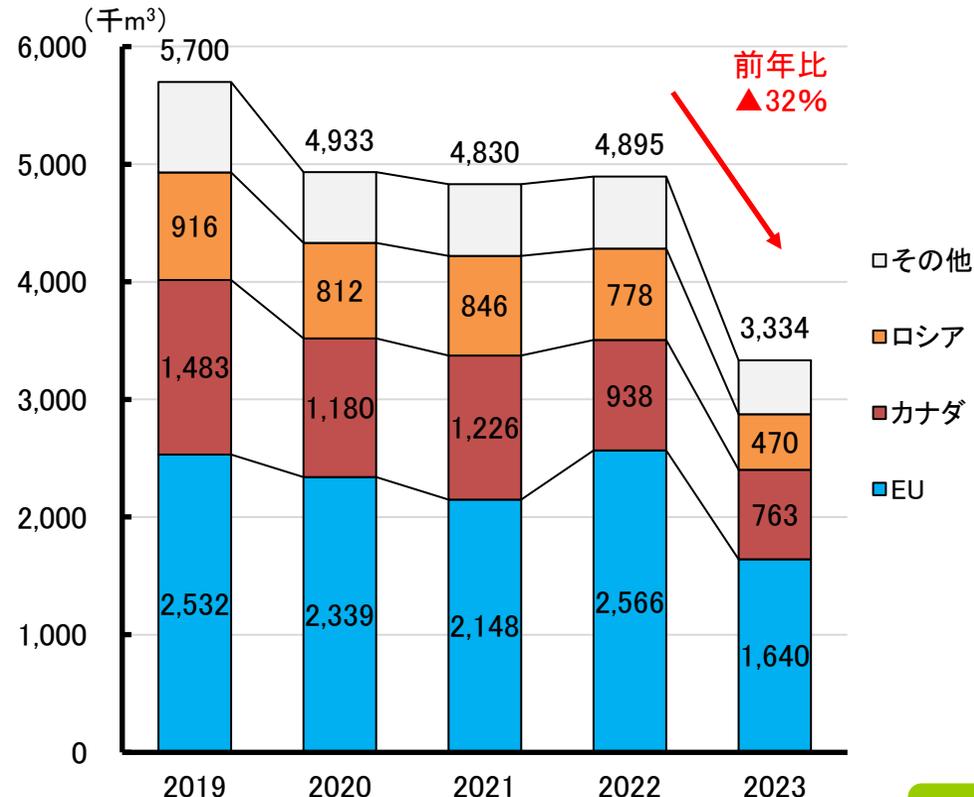
- 2023年の丸太輸入量は、前年比▲19%減の202万m³。
- 米国(シェア:57%)は、同▲23%減の115万m³。需要停滞や、8月末に米松丸太の製材大手が工場火災により操業を停止したことから、輸入量が減少⁽¹⁶⁾⁽¹⁷⁾。
- カナダ(同29%)は、同▲17%減の58万m³。カナダ産丸太は主に合板用で、日本国内の合板メーカーの減産により輸入が減少⁽¹⁶⁾。
- NZ(同12%)は、同▲7%減の24万m³。NZ産丸太は主に梱包材用で、産地価格の上昇と円安の進行等により輸入コストが上昇したことにより、国産材へ転換の動きあり⁽¹⁸⁾。

- 2023年の製材輸入量は、前年比▲32%減の333万m³。
- EU(シェア:49%)は、同▲36%減の164万m³。2022年から続いていた過剰在庫の調整、住宅需要の減少、米松製材や国産材への転換、円安の影響などにより、輸入量は大幅に減少⁽¹⁹⁾⁽²⁰⁾。
- カナダ(同23%)は、同▲19%減の76万m³。SPF製材の産地価格は2020年以前の水準に近づくものの、需要の停滞や国産材への転換の動きなどにより、輸入量が減少⁽²¹⁾⁽²²⁾。2023年後半には、現地での減産や山火事による出材減などで供給力も減少⁽²³⁾。
- ロシア(同14%)は、同▲40%減の47万m³。需要の停滞と市場全体の在庫の過剰感から、輸入量が減少⁽²⁴⁾⁽²⁵⁾。



丸太輸入量の推移

資料:「貿易統計」
(2023年は確々報値)

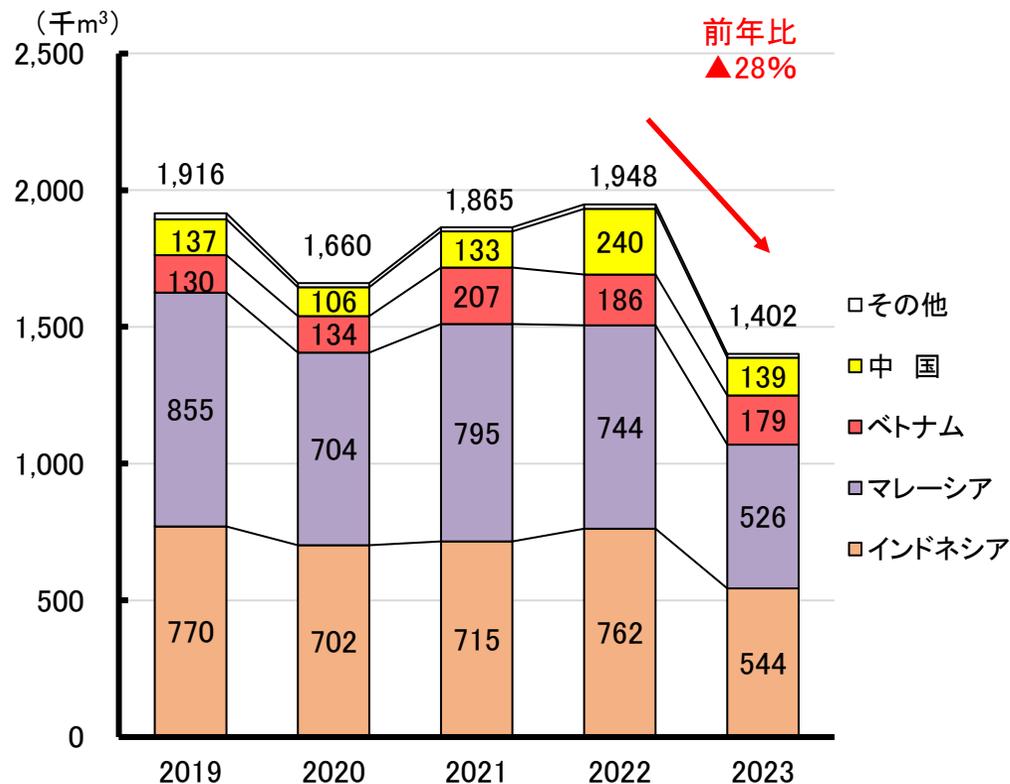


製材輸入量の推移

資料:「貿易統計」
(2023年は確々報値)

(3) 合板

- 2023年の合板輸入量は、前年比▲28%減の140万m³。
- インドネシア(シェア:39%)は、前年比▲29%減の54万m³。マレーシア(同38%)は、前年比▲29%減の53万m³。需要の停滞に加え、円安の影響等により輸入量が大幅に減少⁽¹²⁾。
- ベトナム(同13%)は、前年比▲4%減の18万m³。中国(同10%)は、前年比▲42%減の14万m³。

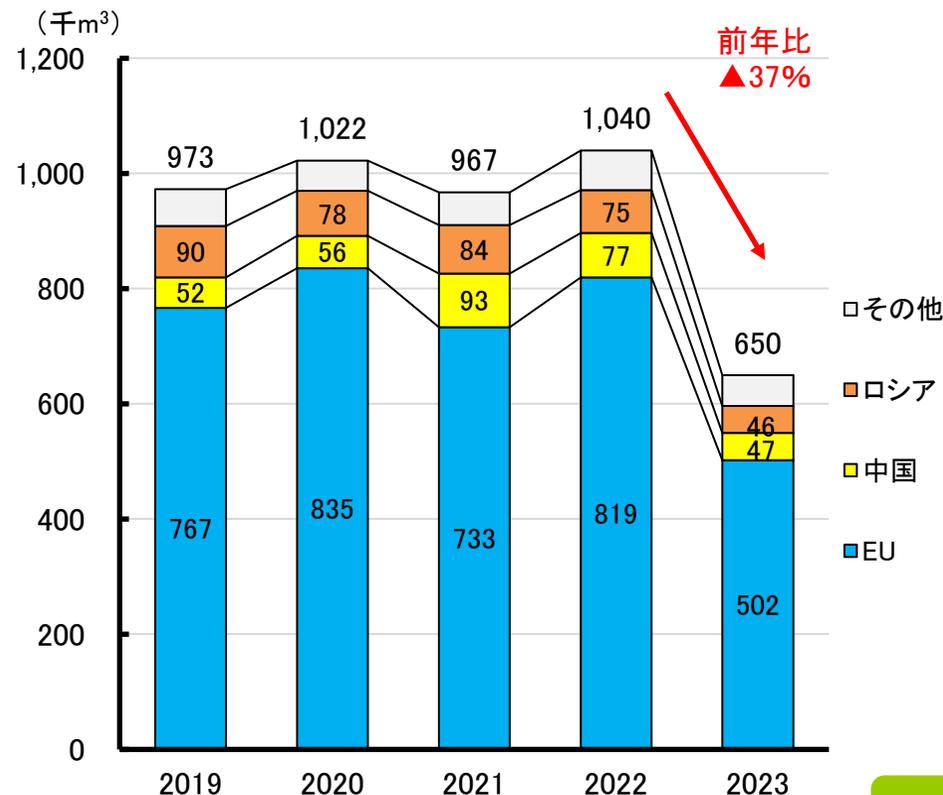


資料:「貿易統計」
(2023年は確々報値)

合板輸入量の推移

(4) 集成材

- 2023年の集成材輸入量は、前年比▲37%減の65万m³(うち構造用集成材:56万m³)。
- EU(シェア:79%)は、前年比▲39%減の50万m³。2022年夏から続いていた過剰在庫の調整、住宅需要の減少、米松製材や国産材への転換、円安の影響などにより輸入量は大幅に減少⁽¹⁹⁾⁽²⁷⁾。
- EU加盟国別では、フィンランドが前年比▲37%減の24万m³、ルーマニアが同▲47%減の8万m³、オーストリアが同▲43%減の7万m³⁽²⁸⁾。
- 中国(シェア:7%)は、同▲39%減の5万m³。ロシア(同7%)は、前年比▲38%減の5万m³。

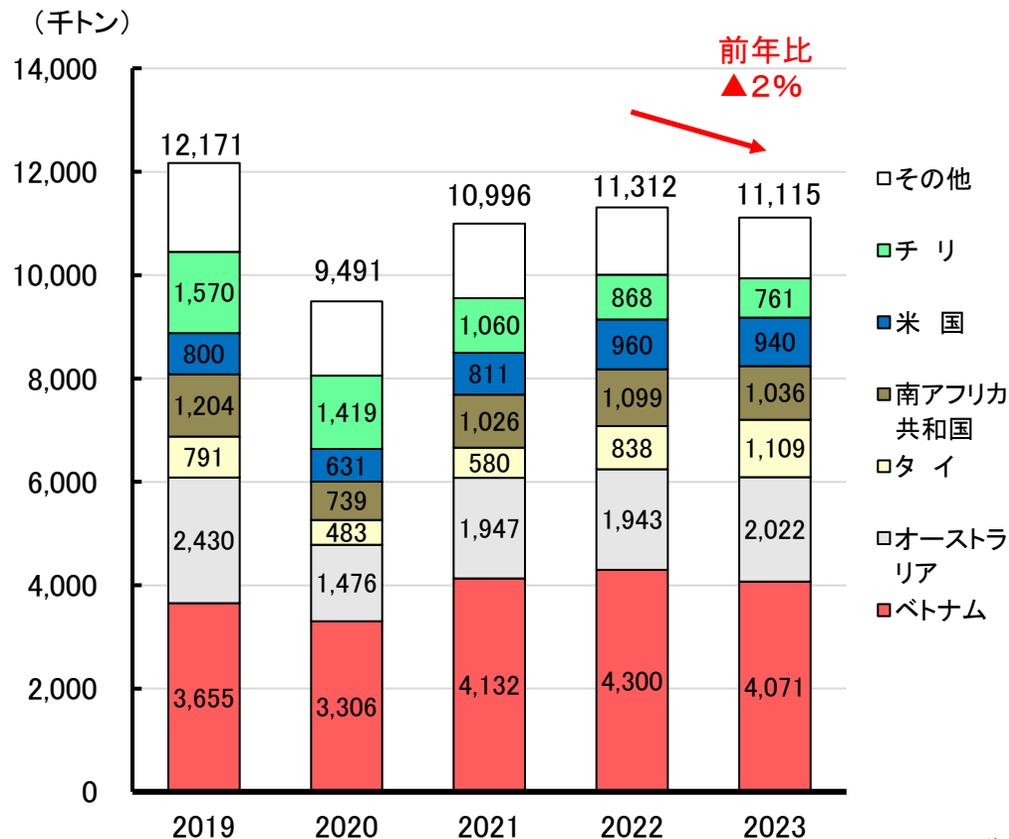


資料:「貿易統計」
(2023年は確々報値)

集成材輸入量の推移

(5) 木材チップ

- 2023年の木材チップ輸入量は、前年比▲2%減の1,112万トン。
- 輸入木材チップの主な用途である、紙・板紙の内需は長期にわたり減少傾向。2023年は、デジタル化の進展によるグラフィック用紙の不振が続いたほか、パッケージング用紙や衛生用紙の需要も前年に比べ減少⁽²⁹⁾⁽³⁰⁾。
- ベトナム(シェア:37%)は、前年比▲5%減の407万トン。オーストラリア(同18%)は同+4%増の202万トン、タイ(同10%)は同+32%増の111万トンとなり、両国の輸入量は年々増加傾向。

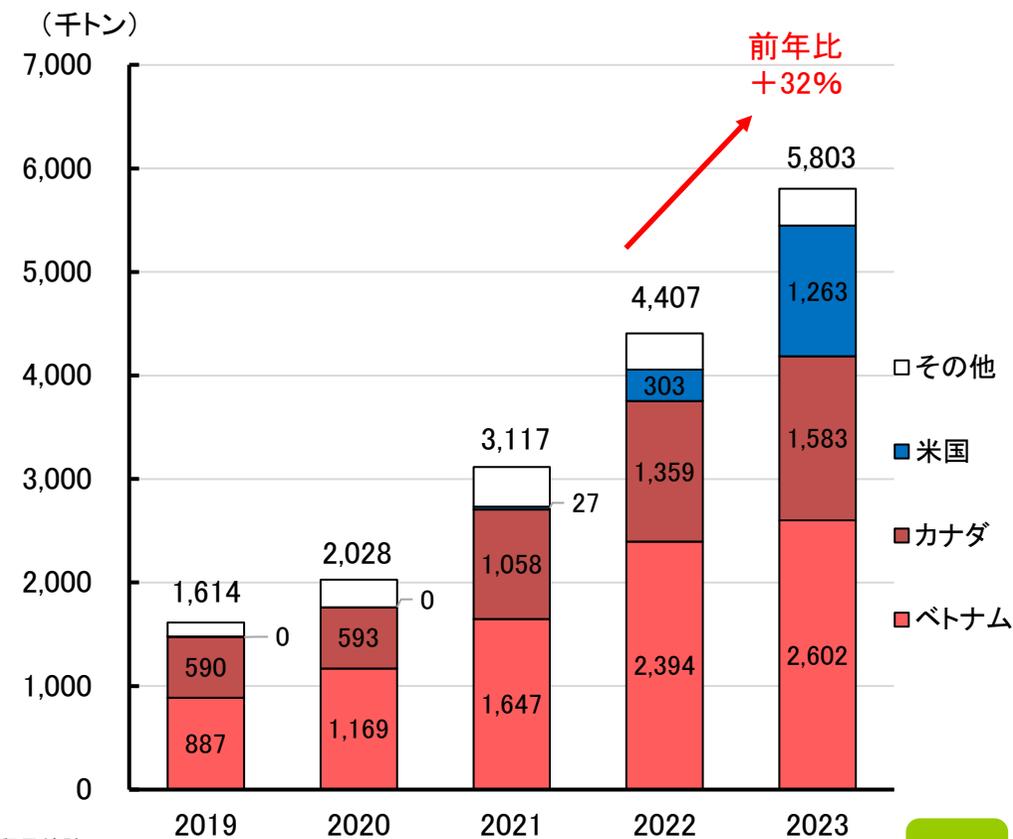


木材チップ輸入量の推移

資料:「貿易統計」
(2023年は速報値)

(6) 木質ペレット

- 2023年の木質ペレット輸入量は、前年比+32%増の580万トン。FIT制度を背景とした木質バイオマス発電所の新規稼働が相次ぎ、近年需要が急増⁽³¹⁾。
- ベトナム(シェア:45%)は同+9%増の260万トン。カナダ(同27%)は同+16%増の158万トン、米国は(同22%)は同+317%増の126万トン。米国は、米国メーカーと長期契約している木質ペレット発電所の稼働率が上がってきたことなどが影響し輸入が大幅に増加⁽³²⁾。



木質ペレット輸入量の推移

資料:「貿易統計」
(2023年は確々報値)

出典

1ページ目

【我が国の主な動向】

- (1)国土交通省 令和5年度 住宅着工統計
- (2)令和5(2023)年12月27日付 日刊木材新聞 1面「2023年の10大ニュース 市況商品の着地点探る一年 内需低迷、大型倒産や相次ぐ火災も」
- (3)令和6(2024)年2月6日付 日刊木材新聞 1面「2023年主要木材輸入量 5大外材、1960年水準に戻る ウッドショック後の需給調整まざまざ」
- (4)令和6(2024)年2月8日付 日本経済新聞 22面「輸入木材、在庫が半減 住宅需要低迷 商社、調達手控え」
- (5)令和5(2023)年12月11日発行 木材建材ウイクリー p.3「新築不振で実需後退、コスト高は継続課題に 市況軟調で盛り上がり欠ける展開」

【地域別の主な動向】

・北米

- (6)(住宅着工戸数)米国商務省「住宅着工統計」(季節調整済み、年率換算、戸建て計)
- (7)(製材価格)Random Lengths「Framing Lumber Composite Price」
- (8)令和6(2024)年1月10日付 日刊木材新聞 9面「米加材 人件費高と米市場改善で値上がりか 中国木材受注制限で樹種転換も」
- (9)令和5(2023)年12月18日発行 木材建材ウイクリー p.13「木材需要、世界的に冷え込む 主要産地、需要と価格の低迷で収益悪化」

・欧州

- (9)令和5(2023)年12月18日発行 木材建材ウイクリー p.13「木材需要、世界的に冷え込む 主要産地、需要と価格の低迷で収益悪化」
- (10)令和6(2024)年1月10日付 日刊木材新聞 9面「欧州材 産地は採算悪化、立て直し急務 紅海回避の影響が懸念材料」

・東南アジア

- (11)令和6(2024)年1月11日付 日刊木材新聞6面「南洋材 丸太、製品とも高止まり 集成フリー板は注文量次第」
- (12)令和6(2024)年1月29日発行 木材建材ウイクリーp.8「内外産合板 国産合板、需給調整進むも底固めが課題 輸入合板は産地への発注減で供給力に懸念」

・中国

- (13)令和5(2023)年12月18日付 Economic Monitor「中国経済:2023年の回顧と2024年の展望」
- (14)ITTO Tropical Timber Market Report Volume 28 Number 3 1st - 15th February 2024 p.18

・ロシア

- (15)令和6(2024)年1月11日付 日刊木材新聞 6面「ロシア材 値上げ、需要停滞足かせ 現地製材メーカーの足並み焦点」

2ページ目

【丸太】

・米国

(16)令和6(2024)年2月8日付 日刊木材新聞 1面「2023年米加材輸入量 丸太・製品とも前年比20~30%減」

(17)令和5(2023)年12月11日発行 木材建材ウイクリー p.7「米材 国内挽きの値下がり輸入製品苦戦 中国木材の受注制限で市況一変も、需要停滞が足かせに」

・カナダ

(16)令和6(2024)年2月8日付 日刊木材新聞 1面「2023年米加材輸入量 丸太・製品とも前年比20~30%減」

・NZ

(18)令和5(2023)年12月11日発行 木材建材ウイクリー p.9「NZ・チリ材 産地高、円安で苦戦」

【製材】

・EU

(19)令和5(2023)年12月11日発行 木材建材ウイクリー p.8「欧州材・構造用集成材 着工減で需要低迷、円安でシェア回復遅れる」

(20)令和6(2024)年2月9日付 日刊木材新聞 1面「2023年欧州産針葉樹製材輸入量 供給調整反映、200万m³割る Wウッドの縮小目立つ」

カナダ

(21)令和6(2024)年1月11日付 日本経済新聞 17面「北米産木材据え置き 国内住宅需要、低迷続く」

(22)令和6(2024)年1月9日付 日刊木材新聞 8面「木材の新価格構造 2×4材 米国市場の減速とともに産地価格が下落 リスク分散の観点で国産材シェアも伸ばす」

(23)令和5(2023)年10月17日付 日刊木材新聞 1面「山火事の生産減も購入意欲回復せず カナダ西部内陸産SPF2×4製材」

・ロシア

(24)令和5(2023)年8月22日付 日刊木材新聞 8面「ロシア材製材品 産地価格が下落 需要停滞で新規契約伸びず」

(25)令和5(2023)年12月11日発行 木材建材ウイクリー p.9「ロシア材 需要停滞で値下げ傾向続く」

3ページ目

【合板】

・マレーシア、インドネシア

(26)令和5(2023)年10月31日付 日刊木材新聞 8面「1ドル150円② コスト高で値上げ急務 資材転換への懸念と板挟み」

【構造用集成材】

・EU

(19)令和5(2023)年12月11日発行 木材建材ウイクリー p.8「欧州材・構造用集成材 着工減で需要低迷、円安でシェア回復遅れる」

(27)令和5(2023)年11月1日付 日刊木材新聞 8面「1ドル150円③ 米材・欧州材 減産や山火事で供給伸ばせず 欧州材、ユーロ高で遅れる失地回復」

(28)令和6(2024)年2月5日付 日刊木材新聞 1面「前年比4割減、13年ぶり低水準 2023年構造用集成材入荷量 過剰在庫の調整に終始した一年」

4ページ目

【木材チップ】

(29)日本製紙連合会 「2024年 紙・板紙内需見通し報告」

(30)令和6(2024)年1月23日付 日本経済新聞 18面「紙・板紙、内需3年連続減」

【木質ペレット】

(31)令和5(2023)年5月22日発行 木材建材ウイクリー p.3-4 「特集:木質バイオマス発電所 物価上昇や燃料材集荷難航で競争激化」

(32)令和5(2023)年8月8日付 日刊木材新聞 1面 「木質ペレットが260万トン越え 輸入木質系燃料の2023年上半期入荷量 発電所向け供給増加を反映」